

経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）に関する施設基準指針遵守証明書

- ※ 記入例を確認し、記載漏れ、誤字、脱字のないように作成してください。
- ※ 提出は必ずメール添付（info@cvit.jp）でお願いします。郵送されましても原本はお返しいたしませんのでご注意ください。

経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）の
施設基準に係る届出書添付書類
経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）に関する
施設基準指針遵守証明書

① 申請日： 年 月 日

② 施設名： _____

③ 施設長氏名： _____ (印)
※自署または捺印が必要です。(シャチハタ不可)

経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）施設基準申請において、以下の内容を遵守いたします。

<CVIT経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）に関する施設基準指針>
該当する□に✓してください

- ④
- (1) J-PCIレジストリーに全例登録していること ※2020年より実施
 UMIN またはNCD から発行された施設診療科登録および診療科長登録完了通知(ハガキまたは、メールの控え)を CVIT 事務局に送付している
 既に全例登録を行っている
 CVITの研修施設、研修関連施設(認定番号: _____)
 - (2) 新規施設は、日本心血管インターベンション治療学会とデバイス企業が共同で行うデバイストレーニングを受けること ※2020年より実施
 - (3) 合併症が有意に多い施設、症例数が少ない施設に対し学会は再度のデバイストレーニングを受ける勧告を行う。勧告を受けた施設は速やかにデバイストレーニングを受けること ※2022年より実施
 - (4) 各施設においてPCI経験300例以上を有する医師の指導のもとに安全に施行し、重篤な合併症が生じたときにCVITに詳細を報告すること ※2020年より実施

<使用デバイス>

- ⑤
- ロータブレーター (ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社)
 - Diamondback 360 Coronary Orbital Atherectomy システム (アボットメディカルジャパン合同会社)
 - ELCA 冠動脈アテローム切除術用カテーテル (株式会社フィリップス・ジャパン)
 - IVL システム (Shockwave Medical Japan 株式会社)

※新規施設は、今回トレーニング受講予定のデバイス全てに✓をしてください
新たにデバイスの追加を行う施設は、過去に申請済みのデバイスにも✓をしてください

⑥

| CVIT 確認欄 |
|----------|
| |

一般社団法人 日本心血管インターベンション治療学会 ver. 20241101

① 申請日

本証明書を作成した日付、または提出した日付を記入してください。

② 施設名

正式名称で記入してください。

③ 施設長氏名

病院長の氏名を記入してください。
署名もしくは記名押印（シャチハタは不可）をお願いします。

④ 施設基準指針

これからNCDに登録する場合、1番目にチェックしてください。NCDの登録が完了している場合は、登録完了通知書（メール・ハガキ）またはNCDのログイン済画面（施設名の記載が分かる箇所）のキャプチャーを併せて提出してください。

すでに全例登録を行っている場合、2番目にチェックしてください。

CVIT研修施設、研修関連施設の場合、3番目にチェックし、施設認定番号を記入してください。

⑤ 使用デバイス

新規施設は、これから使用する（トレーニングを受ける）デバイスにチェックしてください。

過去に遵守証明書を提出しており、新たにデバイスの追加を行う場合は、申請済のデバイスと、今回追加申請するデバイス全てにチェックしてください。

⑥ CVIT確認欄

CVIT事務局で申請内容を確認し、承認日・承認印を入れて返送いたします。